

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	1 年	2	必修
担当教員			
田中 敬幸			

授業のねらい（概要）	修士論文に向けてテーマ決定から、修士論文（約3割）の作成までをおこないます。 問題意識、論文の目的、背景、論文の構成を執筆します。 この授業では、DPにある「調べる力、考える力、表現する力、協働する力」を身につけるための授業です。		
授業計画	第1回	修士論文とは① 予習 修士論文のテーマに関連する資料を収集（120分） 復習 修士論文のテーマに関連する資料を収集（120分）	
	第2回	修士論文とは② 予習 修士論文のテーマに関連する資料を収集（120分） 復習 修士論文のテーマに関連する資料を収集（120分）	
	第3回	卒業論文と修士論文の違いについて 予習 修士論文のテーマに関連する資料を収集（120分） 復習 修士論文のテーマに関連する資料を収集（120分）	
	第4回	資料の検索方法① 予習 修士論文のテーマに関連する資料を収集（120分） 復習 修士論文のテーマに関連する資料を収集（120分）	
	第5回	資料の検索方法② 予習 修士論文のテーマに関連する資料を収集（120分） 復習 修士論文のテーマに関連する資料を収集（120分）	
	第6回	論文の参考となる資料とは 予習 修士論文のテーマに関連する資料を収集（120分） 復習 修士論文のテーマに関連する資料を収集（120分）	
	第7回	テーマを決める 予習 修士論文のテーマに関連する資料を収集（120分） 復習 資料の読み込み（120分）	
	第8回	文献の整理の仕方① 予習 修士論文のテーマに関連する資料を収集（120分） 復習 資料の読み込み（120分）	
	第9回	文献の整理の仕方 予習 修士論文のテーマに関連する資料を収集（120分） 復習 資料の読み込み（120分）	
	第10回	先行研究とは 予習 資料の読み込み（120分） 復習 先行研究を読む（120分）	
	第11回	先行研究の整理① 予習 資料の読み込み（120分） 復習 先行研究を読む（120分）	
	第12回	先行研究の整理② 予習 資料の読み込み（120分） 復習 先行研究を読む（120分）	
	第13回	先行研究の整理③ 予習 資料の読み込み（120分） 復習 先行研究をまとめる（120分）	
	第14回	論文の構成 予習 資料の読み込み（120分） 復習 先行研究をまとめる（120分）	
	第15回	論文の目的について 予習 論文の目的を設定する（120分） 復習 先行研究をまとめる（120分）	
	第16回	問題の背景 予習 資料の読み込み（120分） 復習 先行研究をまとめる（120分）	
	第17回	仮説、問題意識 予習 資料の読み込み（120分） 復習 先行研究をまとめる（120分）	
	第18回	文献の引用方法について 予習 資料の読み込み（120分） 復習 先行研究をまとめる（120分）	
	第19回	データの収集方法 予習 資料の読み込み（120分） 復習 先行研究をまとめる（120分）	
	第20回	最新のデータを入手する	

	第21回 予習 資料の読み込み (120分) 復習 先行研究をまとめる (120分) 専門用語の定義 第22回 予習 資料の読み込み (120分) 復習 先行研究をまとめる (120分) 先行研究のレビュー 第23回 予習 資料の読み込み (120分) 復習 先行研究をまとめる (120分) ケーススタディとは① 第24回 予習 ケースの選定 (120分) 復習 ケースについて資料を集める (120分) ケーススタディとは② 第25回 予習 ケースについて資料を集める (120分) 復習 ケースの作成 (120分) ケースの比較方法 第26回 予習 ケースについて資料を集める (120分) 復習 ケースの作成 (120分) ケースを分析する 第27回 予習 ケースについて資料を集める (120分) 復習 修士論文の執筆 (120分) 研究成果をプレゼンする 第28回 予習 修士論文の執筆 (120分) 復習 発表資料の作成 (120分) 発表資料の作成 第29回 予習 修士論文の執筆 (120分) 復習 発表資料の作成 (120分) 中間発表のリハーサル① 第30回 予習 修士論文の執筆 (120分) 復習 発表資料の作成 (120分) 中間発表のリハーサル② 予習 修士論文の執筆 (120分) 復習 発表資料の作成 (120分)
授業を通して身に付けることができる能力 (DP)	DP (商学研究科) の2項目を意識した科目となっている。 一般的及び専門的教養の基礎の上に、構造的・システマ的分析能力を身につけている。 調査、研究のために必要となる様々なスキルを身に付け、企業や産業が直面する諸課題に対し高度な判断能力、分析能力を活用することができる。
到達目標	論文の作成 (約3割) と資料の収集・整理と読み込み プレゼンテーションの能力を高める
課題や小テスト等のフィードバックの方法	授業中に解説していきます。
履修上の注意	毎回進捗状況の確認をしますので、欠席のないようにしてください。
成績評価の方法・基準	論文のテーマ発表 (30%) 中間発表 (20%) 論文 (50%)
教科書	
参考書・教材	【教材】授業の中で適宜指示します。
備考	演習科目
教員との連絡方法	メール (授業中に指示します)